

## 「生きる力」を育てるためのキーワード集 文献案内

「生きる力」を育てるためのキーワード集(その4)「中教審答申『令和の日本型学校教育』」を読み解くで紹介した内容については、下記の文献等も参考になります。ご参照いただければ幸いです。

### 【ハイブリッド型授業】

- **ハトラー後藤裕子『デジタルで変わる子どもたち——学習・言語能力の現在と未来——』ちくま新書、2021年**

本書は、タブレットやパソコン、スマートフォンなどのデジタル・テクノロジーを学校教育の場でどのように生かすのかを考える上で参考になります。とりわけ、言語能力に焦点をあてて、デジタル・テクノロジーが言語能力の発達にどのような役割を果たしていくのかが浮き彫りにされています。

たとえば、デジタル媒体と紙媒体とでは、どちらで読む方が正確に意味をつくりだせるのか、デジタル媒体の方が効果を発揮するのはどのような場面や状況なのか、さらに、ICT教育のメリットとデメリットは何なのかなどについて、最新の研究成果を踏まえて考察されています。

テクノロジーは諸刃の剣であるとの認識のもと、今後の展望として、「他者との相互交渉(社会性)」や「感情・情緒」「身体性」などを視野に入れる必要性が示唆されています。

### 【教育 DX】

- **デジタル庁、総務省、文部科学省、経済産業省「教育データ利活用ロードマップ」2022年1月**  
[https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/information/field\\_ref\\_resources/0305c503-27f0-4b2c-b477-156c83fdc852/20220107\\_news\\_education\\_01.pdf](https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/information/field_ref_resources/0305c503-27f0-4b2c-b477-156c83fdc852/20220107_news_education_01.pdf)

教育データに関して、利活用と現状と目指すべき姿、蓄積と流通の将来イメージ、利活用のルール・ポリシー、デジタル社会を見据えた教育など、豊富な情報がロードマップとして表記され、今後の教育のデジタル化について、どのように進めていくのかの指標が分かりやすく掲載されています。

- **稲垣忠・佐藤和紀編著「ICT活用の理論と実践 DX時代の教師をめざして」北大路書房、2021年**  
「学校とテクノロジーの関係を探る」などの理論編と、「教室内外の対話・協働を支えるICT」、「個別最適化された学びを実現するICT」などの実践編からなり(全21章)、GIGAスクール構想の実現に向けDXへの取り組みが進む学校でのICT活用の全体像を俯瞰できます。

### 【学習履歴(スタディ・ログ)】

- **デジタル庁、総務省、文部科学省、経済産業省「教育データ利活用ロードマップ」2022年1月**  
学習履歴を含む教育データの利活用の目的は、個人の属性や学習状況、特性などをデータ化して紐づけることで、「誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学べる社会」を実現することにあります。このロードマップでは、「教育データ利活用の目指すべき姿」を掲げた上で、デジタルを手段として、学習者主体の教育への転換や教職員が子供達と向き合える環境を整えるための論点や工程表がまとめられています。どんなデータを蓄積し、誰が、どのような場面でどんなふうに活用するのかを、多面的にイメージすることができます。

また、2020年7月から「教育データの利活用に関する有識者会議」が継続的に行われており、配布資料等から、どのように議論が進んでいるのかが分かります。



## 【指導の個別化と学習の個性化】

- **学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料(文部科学省初等中等教育局教育課程課、令和3年3月版)**

[https://www.mext.go.jp/content/210330-mxt\\_kyoiku01-000013731\\_09.pdf](https://www.mext.go.jp/content/210330-mxt_kyoiku01-000013731_09.pdf)

本資料の2.(3)「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の項目①「個別最適な学び」の中で、「指導の個別化」と「学習の個性化」の内容が整理され、その意義や目的、児童生徒の目指す姿、教師が取り組むべきポイントが具体的に分かりやすくまとめられています。また、項目①の最後には、「指導の個別化」と「学習の個性化」を学習者視点から整理した概念が「個別最適な学び」であり、これを教師視点から整理した概念が「個に応じた指導」と述べられており、「個に応じた指導」との関連についても理解できる内容となっています。

## 【学校マネジメント】

- **文部科学省 マネジメント研修カリキュラム等開発会議(2005)**

「学校組織マネジメント研修～すべての教職員のために(モデル・カリキュラム)」

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/kenshu/05031101/001.pdf](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kenshu/05031101/001.pdf)

- **木岡一明編著(2007)「ステップ・アップ学校組織マネジメント―学校・教職員がもっと元気になる開発プログラム」第一法規**

- **佐古秀一(2019)「管理職のための学校経営 R-PDCA 内発的な改善力を高めるマネジメントサイクル」明治図書**

## 【ウェルビーイング】

- **OECD 生徒の学習到達度調査 PISA2015 年調査国際結果報告生徒の well-being(生徒の健やかさ・幸福度)(国立教育政策研究所 2017年)**

国立教育政策研究所が、OECD 生徒の学習到達度調査(PISA)2015年調査国際結果報告書から、『生徒の well-being(生徒の「健やかさ・幸福度」)』について公表したものです。本報告書には生徒の well-being についての定義もされていますので、是非一読ください。

[https://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/pdf/pisa2015\\_20170419\\_report.pdf](https://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/pdf/pisa2015_20170419_report.pdf)

- **OECD ラーニング・コンパス(学びの羅針盤)2030(仮訳)**

2015年から進められてきた“OECD Future of Education and skills 2030”プロジェクトの成果物であり、2019年5月に最終報告書の一つとして公表されたものです。ラーニング・コンパスは、生徒がどのように個人のウェルビーイングを獲得し、またグローバルなレベルを含む集団のウェルビーイングを獲得できるのかについて説明がなされています。新学習指導要領も Education2030と連動して改訂を検討されてきたと言われています。

[https://www.oecd.org/education/2030-project/teaching-and-learning/learning/learning-compass-2030/OECD\\_LEARNING\\_COMPASS\\_2030\\_Concept\\_note\\_Japanese.pdf](https://www.oecd.org/education/2030-project/teaching-and-learning/learning/learning-compass-2030/OECD_LEARNING_COMPASS_2030_Concept_note_Japanese.pdf)

## 【SDGs】

SDGs の基本的事項や日本での取り組み、ESD（持続可能な開発のための教育）について概観できる資料や副教材を紹介します。

- 国際連合広報センター「持続可能な開発目標」「SDGs とは」

[https://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/sustainable\\_development\\_goals/](https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/sustainable_development_goals/)

[https://www.unic.or.jp/news\\_press/features\\_backgrounders/31737/](https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/31737/)

- 外務省 持続可能な開発目標(SDGs)と日本の取り組み(パンフレット)

[https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs\\_pamphlet.pdf](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf)

- 持続可能な開発のための教育(文部科学省HPより)

<https://www.mext.go.jp/unesco/004/1339970.htm>

- 日本ユニセフ協会 SDGs 副教材「私たちがつくる持続可能な世界」

<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/kyozai/>



令和4(2022)年10月3日発行  
【編集】京都教育大学 教職キャリア高度化センター  
〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地  
careerc@kyokyo-u.ac.jp